

宝ホールディングス株式会社 第112回定時株主総会 質疑応答の概要

【① 招集通知の内容、議決権行使促進ハガキについて】

Q：招集通知をカラー化して役員候補者の写真を掲載しないのか？

A：今回から適用された株主総会資料の電子提供制度の趣旨もふまえて検討し、招集通知には候補者の写真は掲載していないが、当社ウェブサイトに参加資料として候補者の写真を掲載させていただくこととした。また、本日の議案の説明において、スクリーンに候補者一人一人の写真を投影させていただくので、ご理解をたまわりたい。カラー化についてはコスト面等も考慮する必要があるが、招集通知のあり方については今後も継続的に検討する。

Q：議決権の行使を促進するハガキを発送しているが、不要ではないか？

A：当社の株主様の議決権行使率は人数ベースで50%超と世間水準より高く、これは議決権行使促進ハガキをお送りしている効果が一定程度表れているものと判断しており、ご理解をたまわりたい。

Q：会社法の改正（株主総会資料の電子提供制度の施行）により招集通知が薄くなったが、記載内容を検討してもらえないか？

A：今回の招集通知においては、株主総会資料の電子提供制度の趣旨をふまえた上で検討を行い、特に議案の内容は、株主様に議決権を行使いただくために必要と判断して従来どおり書面に記載し、それ以外の事業報告、計算書類等は電子提供とさせていただいた。引き続き昨年までと同様に計算書類等を書面で受領されることをご希望の株主様におかれては、書面交付請求の手続きをおとりいただきたい。今後も引き続き、招集通知の内容のあり方については検討していく。

【② 株主優待について】

Q：株主優待の「酒類詰め合わせ」について、「滞」が入っているなど、若い年齢層向けに設定されているように思われるので、年齢層が高めの株主向けの商品を入れてもらえないか？

A：株主優待の目的の一つが、当社グループの事業や製品に対して株主様のご理解をさらに深めていただくということであり、この趣旨に則り、優待品に何を採用するかを毎年検討している。戦略的に伸ばしていきたい商品を中心に選定しており、「滞」もそのような戦略商品の一つと位置付け、優待品に入れている。今後も、優待品にどのようなものを選定するかについては、毎年検討していく。

【③ 海外における事業展開について】

Q：海外のどのような市場で伸ばしていくのか？

A：現在、和酒だけではなく、日本食材をあわせた日本の食文化全体を浸透させていくという狙いとしている。現在の主なルートは、現地の日本食レストランであるが、最近では例えば、現地のフランス料理やイタリア料理においても食材や和酒が徐々に浸透してきている。課題は販売ルートの多角化と認識しており、例えば、現地の流通・小売店、テイクアウト、さらにはインターネット等を通じて訴求をしていくことにより、浸透に努める。

なお、国内での宝酒造の事業をしっかりと成長させていった上で、そのさらなる成長分野を海外に求めているということであり、国内は国内でしっかりやっていく。

Q：海外のどのエリアで何が伸びているのか？

A：伸びているエリアとしては、アメリカ・香港・韓国・台湾・シンガポール等である。最近では、ヨーロッパ諸国も伸びてきている。商品については、主力は日本酒であり、その中でも、一番大きな商品となっているのは「澁」である。にごり酒、和のリキュール、チューハイも伸びてきている。

また、海外日本食材卸については、北米、ヨーロッパを中心に展開エリアを拡大している。寿司、ラーメン、うどん、から揚げといったものに使われる原料・食材が最近では伸びてきている。

【④ 臨床・創薬分野における事業展開について】

Q：臨床・創薬分野への事業領域拡大を加速させていきたいとのことだが、がん等の特定の領域を念頭に置いているのか？

A：細胞・遺伝子治療の分野に我々の強みがあると考えており、特にウイルスベクターの技術において他社に対してアドバンテージがあると考えている。現在進めているプロジェクトにおいては、がんの分野が先行しているが、脳や網膜内の細胞に非常に効率よく遺伝子を導入できるウイルスベクターの技術に強みがあり、がんに限らず、我々の技術が適用できる神経疾患や眼科領域においてアドバンテージが見出せると考えている。

【⑤ 若い方の酒離れ対策について】

Q：和酒・日本食文化の世界浸透を目指していることだが、日本において特に酒離れしていく若者に対してどのような広報、PR活動等の対策を考えているか？

A：日本酒市場は10年以上連続で市場が縮小しており、若年層の飲酒量が減ってきている一方で、20代や30代の方はここ5年間くらい、日本酒に非常に興味を持って、購入頻度や飲酒機会が増えてきていること、香り系の商品に関心がある傾向にもあることから、そういった分野に力を入れて、若年層を獲得していきたいと考えている。

【⑥ 女性比率、女性の活躍推進に向けた取組みについて】

Q：女性社員の比率は？ また、女性視点の経営戦略もこれからさらに必要になってくると思われるので、そのための考え・施策は？

A：女性比率は、宝ホールディングス・宝酒造・宝酒造インターナショナルの3社計で17%、タカラバイオで48%である。

女性の活躍推進に関する施策として、女性活躍推進法に基づき行動計画を策定し、新卒採用者における女性比率、女性管理職比率等の目標を掲げて取組みを進めている。これに加えて、サステナビリティ・ビジョンにおいても、中長期的な目標を設定し公表している。

目標達成に向けては、採用時の説明会等に女性社員を多数出席させ、女性の活躍をイメージさせるような工夫等を行うことや、女性役職者・役職者候補を対象として、必要とされる能力開発や自身のキャリアデザイン策定を目的とした研修等を実施している。また、女性社員の活躍や女性社員がより意欲的に働くことができるような環境整備を目的として、女性社員を部下に持つ上司を対象とした研修を実施している。

以 上